

『児童発達支援ガイドライン』に沿った本人中心 の個別支援計画を作成・実施するために

－ポーターシフトプログラムの活用と効果の評価－

- 東洋大学人間科学総合研究所では特別研究として、平成 27 年度より 3 年間にわたって「発達臨床における相談員の研修と相談支援活動」に関する研究を行いました。その間、平成 29 年 6 月には『児童発達支援ガイドライン』（座長 大塚晃）が公示され、このガイドラインにもとづき地域を拠点とする児童発達支援が実践できる相談員の養成と関連機関の増加を目指して、地域における研修会を実施してきました。（全国 7 カ所：東京、大阪、富山、福岡、佐賀、名古屋、盛岡）
- 平成 30 年度はさらに継続して、拠点となる地域で「アウトリーチによる相談員の養成と相談活動の支援」の研究に関して、全国 2 カ所（山口、愛媛）で研修会を実施します。

日時：平成 30 年 12 月 2 日（日）

9:30～16:30

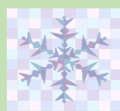
**会場：ピピ 510（徳山商店連合協
働組合）Mホール**

山口県周南市花町 1-17

参加費：無 料

定員：50 名（定員にない次第締め切ります）

参加申し込み：認定 NPO 法人日本ポーターシフト協会
（件名を「山口研修参加」とし、氏名、連絡先、勤務先を明記して
日本ポーターシフト協会に、下記の Fax またはメールにてお申し込み
ください）



講師・演題

○午 前（9:30～12:30）

■大塚 晃（上智大学総合人間科学部教授・
日本ポーターシフト協会理事）

「『児童発達支援ガイドライン』の理解
と本人中心の個別支援計画」

■吉川真知子（日本ポーターシフト協会常務理事）

「ポーターシフトプログラムの基礎—プロ
グラムの構成と相談支援の進め方」

○午 後（13:30～16:30）

■清水直治（東洋大学人間科学総合研究所
客員研究員・日本ポーターシフト協会会長）「ポー
ターシフトプログラムの応用—相談支援に
おける応用行動分析の原理と適用」

■花田栄子（北九州市立到津ひまわり学園・
日本ポーターシフト協会認定スーパーバイザー）

「保育所等訪問支援の中でのポーター
シフトプログラムの活用」

〈主 催〉東洋大学人間科学総合研究所 〒112-8606 文京区白山 5-28-20

〈共 催〉認定 NPO 法人日本ポーターシフト協会

〒166-0012 東京都杉並区和田 3 丁目 5-45 第 10 田中ビル 3 階 3 号室

TEL 03-3313-4822 FAX 03-3313-2575 Email email@japan-portage.org

当日の緊急連絡先 080-3348-1820 （当日の連絡は必ずこちらにお願いします）

〈後 援〉周南市教育委員会

〈協 力〉医療法人成心会ふじわら医院（山口県・周南市）